

「Ham Radio Deluxe」

• Version Kit 4.0 SP3 build 1875

* 2008年6月10日

- (変更): 「IP サーバー」(「ラジオコントロールのため DM780 で使われている」)のために、「送信/受信タイムアウト時間を 30 秒」に適應するように変更しました。
- (追加): 「IP サーバー」に、ログファイル「HRDIPServerLogfile.txt」を追加しました。「ファイル」は、「実行フォルダー」にセーブされます。

* 2008年6月6日

- (固定): 「グーグル・アース」インターフェイスが、「正確なファイル・シンタックス (構成)」を使用するようになりました。
- (固定): 「DX クラスター」で、「DX クラスタークライアント(例えば、GB8MBC に接続された)」を使うときに、「間違ってフォーマットされたスポット・データに「ループ」されていた」のを修正しました。
- (変更): 「内蔵の DX クラスター」の「読み込みバッファサイズを 64 k」に「増加」しました。

* 2008年5月31日

• Kit 4.0 SP2 リリース

* 2008年5月25日

- (固定): 「no-op 要請」を追加することによって、「ブロックされているラジオ通信系 (順路 9)」を改善しました。
これまでは、「ブロックされたルーチン (手順)」は正確に働いていませんでした。
それで、ラジオの現在の「読み/書き」が、「タイムアウト」と「有効なロックアウト」によって、「中断させる」ことができるようになりました。

* 2008年5月17日

- (追加): 「K3 (トランシーバー)」の「モード・ドロップダウン」ボタンに「AM と FM」を追加しました。

* 2008年5月14日

- (固定): 「TS-2000」の「メモリーチャンネル名」は、「MW (中波) 状態では 8 文字が最大である」という「プログラミング情報」であるけれども、「正確に 7 文字に制限され」るようにしました。

「Digital Master 780」

• Version : Kit 4.0 SP3 build 1875

* 2008年6月12日

- (追加): 「SuperBrowser : スーパー・ブラウザー」が「正確に働いていない」時に使うため、「SuperBrowser メニュー」の「Logfile (ログファイル)

/ Show Status (状況表示)」に、「ログファイルのための診断情報」をデザインしました。

* 2008年6月10日

- ・(変更):「QSO ウィンドウレイアウト」ボタンを「ポップアップ」に「移動」しました。

* 2008年6月8日

- ・(変更):「ウオーターフォール」が実際に「目視」される時、「ウオーターフォール」の中の「カーソルポイントで解読されたテキスト」だけが「表示されることを確認する」ための「余分のチェック」を加えました。
- ・(変更):「左マウスボタン」が押されている間は、QSO で受信されたテキストの「更新は延期(据え置き)」されます。
それで、ユーザーは、「新しい文字が表示される」とき、「ウィンドウへ含まれる変更なし」で、「文字の選択」ができます。
・ユーザーが「左マウスを放す」と、すぐに「据え置かれた文字」が追加されます。
- ・(固定):「DM780」で、若干の「スクリーンショット問題」を切り抜けるため、「Alt + PrintScreen」(キー)で「捕獲」して、それを「内部でクリップボードにコピー」します。
そして「デフォルト画像ビューアー」で「画像」を作ります。
- ・(追加):「Extra QSO display layout : 余分の QSO デisplay・レイアウト」 - 「垂直に並べられた2つのウィンドウ」を追加しました。
これらの素敵な「ワイドモニター」は便利(使いやすい)です。

* 2008年6月6日

- ・(固定):「ラジオパネル・コンフィギュレーション」の「registry correctly : 正確に登録」で、「アドレスとポート」がセーブされなかったのを固定しました。
- ・(追加):全ての「画像エディター」に「ペースト(貼り付け)」するために、「クリップボードに準備できる」よう、「画像のコピー」ができるように「Screen capture : スクリーンキャプチャー」を加えました。
- ・(変更):もし、HRD への「接続がタイムアウト」するか、「失われる」時は、「接続が失われた」と宣告される前に「再接続」をするか、「ギブアップ」するか、「家に帰る」かの「3つの試行」が行われます。
- ・(変更):処理するための「データ」を待つとき、「バックグラウンド(背景)での作動」は「無限大」の代わりに「1秒でのタイムアウト」を持ちます。
これは、DM780 が、「時々、ロックアップ(固着)するのはなぜか」を見つけだす試みの一部です。
- ・(固定):「QSO 受信ウィンドウ」に「正確に表示されないビットマップ(喜び、怒り)」の原因の「画像データの対象漏れ」を修正した。
- ・(変更):「ラジオパネル・コンフィギュレーション」ウィンドウは、「キャンセル(上部、右角の「X」の「エスケープ」を押して)」するとき、「変更のセーブ」を「迅速に行い」ます。

* 2008年6月4日

- ・(固定):SSTV で、「P-モード」画像の「同期化」の時、「DM780」はもうクラッシュしません。

* 2008 年 6 月 2 日

- ・(変更):「QSO ウィンドウ」で「CPU の負荷を減少する」ため、「テキストが選択される」まで、「受信されたテキスト」の更新は「バッチ処理」されません。
- ・(変更): QSO ウィンドウでの「コールサイン検索」は、「CMap (辞書収集クラス)」を使うように「変更」されました。
- ・(変更): QSO 受信ウィンドウでの「メートル法」での「周波数の減少」は、「オーディオ・サンプルごとに最大 1 回限り」に「更新」されました。「PSK63 / PSK125」で、これが「多すぎる更新の原因」と「極端な CPU 消費の原因」になっていました。これは、「低い CPU / オンボードビデオ」で「システム」のために重要です。
- ・(変更):「ウォーターフォール・スペクトル」表示は、現在「値をスムーズ」に与えるように変更されました。
- ・(変更):「Hell (ヘルシュライバー) フォント選択ウィンドウ」に「些細な変更」をしました。
- ・(固定):「ウォーターフォール・スペクトルモード」は、現在、正確に作動します。常に「グリッドとスペクトル」を表示します。

(15/JUN/2008 J A 6 A Q V)